

(様式 2)

議事録番号

提出 2023 年 10 月 24 日

会合議事録

研究会名：X 線スペクトロスコーピー利用研究会

日 時：2023 年 8 月 2 日 16:00-18:00

場 所：オンライン開催

出席者：大山順也（熊本大）、朝倉博行（近畿大）、片山真祥（JASRI）本間徹生（JASRI）、加藤和男（JASRI）、他

計 40 名

議題：

1. 活動報告
2. XAFS を利用した最近の研究について
3. ビームラインの現状と再編・アップグレードの進捗について
4. 全体ディスカッション

議事内容：

1. 熊本大学の大山より、本年度の X 線スペクトロスコーピー利用研究会の活動報告が行われた。SPring-8 シンポジウム 2023 でのポスター発表について報告され、ポスターでは下記 4 名の先生方に資料を提供いただき、その内容を発表することが紹介された。

「オペランド電気化学 XAFS による水電解触媒の解析」 東北大学 内山智貴先生

「アリルエステル異性化反応における酸化物担持白金触媒活性種の構造解析」 九州大学 村山美乃先生

「3d 遷移金属の共鳴 X 線非弾性散乱信号部分収量法を用いた L 端蛍光 XAS 構造の解析」 京都工芸繊維大学 今田早紀先生

「放射光 X 線吸収／発光分光によるナノ粒子の特異な電子状態の理解」 東北大学 二宮翔先生

また、本研究会活動として、今回の X 線スペクトロスコーピー研究会第 14 回会合の開催が報告された。

2. X 線スペクトロスコープを用いた高度利用研究の推進を目的とし、下記の 2 名の講師の先生方からご講演いただき、XAFS を利用した最近の研究と XAFS の今後の展望についてお話いただいた。

「複合酸化物セラミックス不規則化の XAFS 構造解析」九州大学 吉岡聰先生

「電気化学デバイスのオペランド計測と今後の期待」東北大学 内山智貴先生

いずれのご講演も非常に興味深く、スペクトルシミュレーションやオペランド分析など X 線スペクトロスコープを用いた材料解析・測定方法や研究内容について、会場から多数の質問が出た。

3. ビームラインの現状と再編・アップグレードの進捗について、JASRI の片山真祥先生から詳しく紹介いただいた。
4. 全体を通した議論を行い、再編・アップグレードの進捗に合わせて次回の研究会を開催することとした。